

外張り断熱工法

断熱厚50mm超～100mm以下
横胴縁 限定基準

1-6 横胴縁仕様 各部の規定

3) 胴縁

① 材質・寸法

- ・木胴縁の厚み、樹種は次の例を参考にしてください。
スギ材を用いる場合には厚み18mm以上、ベイツガ材を用いる場合には厚み15mm以上の乾燥材を使用してください。これら以外の胴縁下地組みについては、弊社最寄りの営業所までお問い合わせください。
- ・出隅部などに関しては、胴縁幅120mm(※条件によって90mm)が必要となります。躯体に確実に留め付け、またモエンが確実に留め付けられるよう注意してください。
※出隅部に木棧(断熱材厚み×150mm)を縦に入れる仕様があります。別頁をご確認ください。

② 留付ビス

・シネジック株式会社製 『パネリドⅡ⁺(プラス)』

●断熱材の厚みにより下記表の指定ビスを使用

断熱材の厚さ	パネリドⅡ ⁺ (プラス)
50mm超～65mm以下	φ6.0mm×135mm (P6×135Ⅱ ⁺)
65mm超～75mm以下	φ6.0mm×150mm (P6×150Ⅱ ⁺)
75mm超～100mm以下	φ6.0mm×185mm (P6×185Ⅱ ⁺)

※上記ビス長さは胴縁厚が20mm程度以下の場合です。胴縁厚がこれを超える場合は、当基準外となります。

問い合わせ先 シネジック株式会社 TEL 022(351)7330

③ ビス留付方法および留付間隔

●モエンの施工法・胴縁部位により、下表の間隔で留め付けます。

※モエンの重量(気乾)は20.4kg/m²以下とします。

施工法	胴縁部位 および 下地躯体		ビス留付方法・間隔	該当サイディング
金具施工	補助棧部	横架材下地あり (土台・梁などへ留め付け)	シングル留め @227.5(250)mm以下	EX 縦張り品
		横架材下地なし (間柱へ留め付け)	ダブル留め @455(500)mm以下	
	横 棧 部	(横架材または間柱へ留め付け)	シングル留め @455(500)mm以下	
	断熱材部	(間柱へ留め付け)	シングル留め @455(500)mm以下	
釘打ち施工	補助棧部 断熱材部	(横架材または間柱へ留め付け)	シングル留め @455(500)mm以下	M W EX 縦張り品

例

